

# 令和7年度 三木市 認知症地域支援推進員活動報告

## 認知症地域支援推進員について

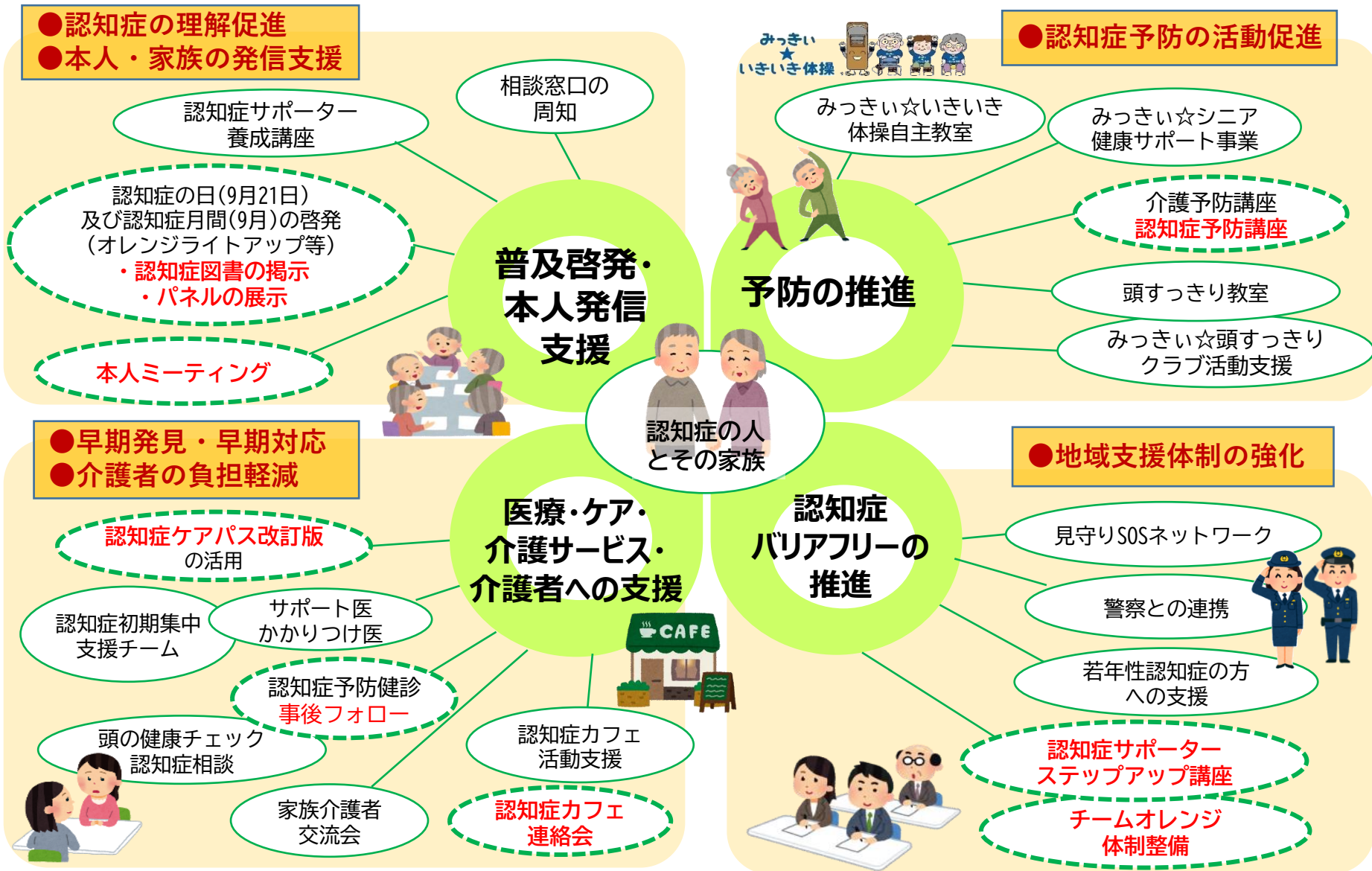
- 1 認知症地域支援推進員： 9名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
  - 認知症の人とその家族への相談支援
  - 認知症予防講座、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターズ  
テップアップ講座の開催
  - 本人ミーティングのプレ開催
  - 認知症カフェの支援
  - 認知症予防健診後のフォロー
  - 頭部の健康チェック（タッチパネル）による相談
  - 認知症予防教室の開催およびOB会のフォロー
  - 認知症高齢者等の見守りSOSネットワークの運用
  - 認知症初期集中支援チームとの連携
  - 認知症月間の啓発
  - こころの声アンケートの実施

報告者氏名:原口 杏・赤松 聡美

# 令和6年度～令和8年度の三木市認知症施策

- 認知症の理解促進
- 本人・家族の発信支援

- 認知症予防の活動促進

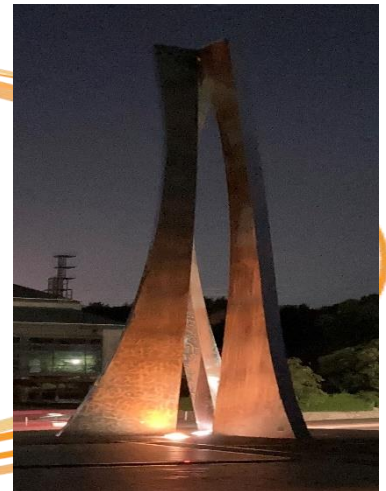


「共生と予防」を両輪とする認知症施策の推進

# 標題 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発活動

9月 認知症月間啓発

- 9月の認知症月間及び9月21日の認知症の日に際し、子どもから高齢者まで、さまざまな人へ新しい認知症観および認知症への正しい理解を広めるため啓発活動を実施。
- 庁内放送を実施。市役所前オブジェをオレンジ色にライトアップしたり、懸垂幕を掲揚。
- 新しい認知症観や認知症カフェ等の紹介、サポーター養成講座受講者の感想や認知症マップ等を展示。
- 昨年度の市役所プロムナードや中央図書館に加え、吉川図書館、市立緑が丘町公民館でも実施。
- 神鉄三木駅のデジタルサイネージを活用し周知。
- みっきい☆健康アプリに健康コラムを掲載。
- 市職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催



10月 認知症サポーター養成講座

11月 認知症サポーターステップアップ講座 市民向け開催

●市民向けに10月24日認知症サポーター養成講座（52名参加）、11月25日ステップアップ講座（35名参加）を開催。

ステップアップ講座では本人視点での認知症の理解、認知症サポーター活動等について学びました。

チームオレンジの活動を希望される方もあり、チームオレンジ立ち上げに向け検討を進めています。



認知症予防教室（頭すっきり教室）開催

認知症予防健診後のフォローとして、認知症予防健診結果が26点以上の方及び軽度認知障害（MCI）の疑いや診断のある方を対象に、認知機能を維持もしくは低下を緩やかにし住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続けることができるようにすることを目的に5回連続教室として体操や脳トレ、ゲーム等を行いました。終了後は自主教室立ち上げに向け支援します。

実施日 第1回 2月12日（木） 第2回 2月26日（木） 第3回 3月5日（木）  
第4回 3月12日（木） 第5回 3月19日（木）

参加者 5名

認知症サポーター養成講座

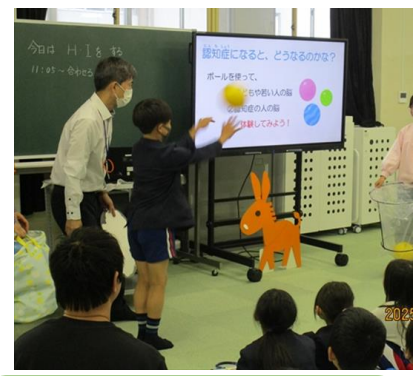


令和7年度は **416名** の認知症サポーターが誕生しました (累計7,464名)

R8.3.12現在

対象者	人数
小学生	141名
高校生	37名
市職員	65名
いきいき体操・サポーター	41名
地域団体・住民	132名

小学校3校の授業で講座を行い、141名のキッズサポーターが誕生しました。



参加者の声

もしこまっているかたがいたら、やさしく声をかけたり、とおくでみまもったり、ちかくにおとながいたらよびにいたりしたいです。

お互いに話を聞き合える場所づくりに参加したい。

ひいおばあちゃんが認知症みたいなかんじで、いつも何回も同じことを言ってきて、いつもイライラしていたけど、この学習をいかして気をつけていきたい。



認知症を自分ごととして考えていくきっかけになりました



本人ミーティングプレ開催

本人ミーティングを  
プレ開催しました。

実施日

- 第1回 令和8年2月20日（金） 2名参加
- 第2回 令和8年2月24日（火） 2名参加
- 第3回 令和8年3月18日（水） 6名参加



第9期介護保険事業計画期間中の本格開催をめざしたプレ開催として、令和7年度も“もの忘れの気になる方”を対象に3回開催しました。

アイスブレーキングとして小物入れの工作に取り組んだ後、好きなことや日ごろ思っていることなど意見交換の時間を設けました。将来への不安や「今日は思い切って行きたいと行ってよかった」「人と話すのは苦手。でも自分にとってはこういう機会に来てよかったと思います」といった声を聞くことができました。

本人ミーティングのプレ開催を土台に、本格開催に向けて検討していきます。



## 最後に・・・

令和7年度も多くの認知症サポーターが誕生しました。地域のひとりひとりが認知症を正しく理解し、他人事としてではなく、『自分ごと』として受け止め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう引き続き周知・啓発に取り組んでいきます。

認知症サポーターステップアップ講座の参加者や認知症カフェ団体等とともにチームオレンジ活動につなげていけるよう今後も取り組んでいきたいと思えます。